

トヨタ紡織、刈谷本社に新本館を建設

～グローバル本社機能を強化～

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、グローバルな経営基盤をさらに強固なものにし、成長戦略の実現に向けた取り組みを加速させるため、刈谷本社に新本館（2020年5月竣工予定）を建設します。コーポレート機能を集約し、情報インフラを整備して、グローバル本社として必要な機能を強化するとともに、社員の働き方改革の推進や、株主様・お客様・地域のみなさまへの貢献も積極的に進めていきます。

1. 新本館の主な特徴

1) コーポレート機能の集約、社内外との連携強化

- ① 情報インフラおよび経営情報基盤の整備による**経営の意思決定の迅速化**とともに、情報の一元化による**グローバルガバナンスの強化**
- ② コラボレーションエリアの新設による、**海外拠点・製品事業、および社外との連携強化**
- ③ 創造性の発揮と人材育成につながる**オフィススペースの刷新**

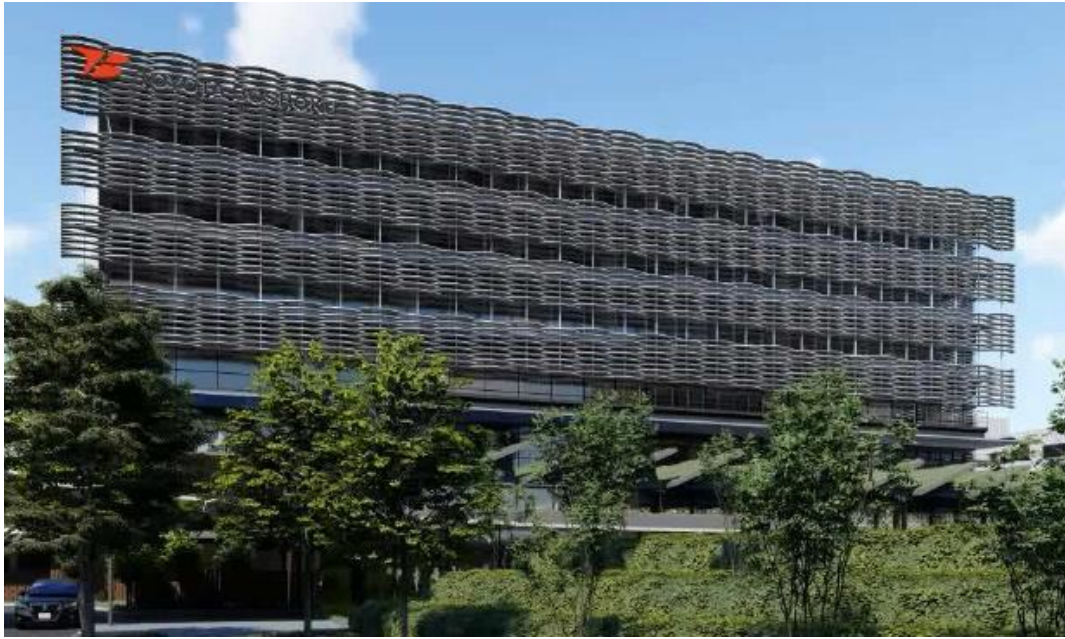
2) 地域への貢献、環境への配慮

- ① 電源・給水供給機能などを備え、災害時には地域社会の防災拠点としても活用
- ② 自然採光、自然換気など最先端のシステムを導入した省エネルギーオフィス
- ③ トヨタ紡織の伝統を伝える**歴史展示館**

2. 建物の概要

- 1) 所在地 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地（本社）
- 2) 建屋構造 地上6階建て、延床面積12,600㎡（1フロアあたり約1,970㎡）
- 3) 建設期間 2019年5月着工、2020年5月竣工予定
- 4) 投資額 約45億円

当社は、2018年、源流である「豊田紡織株式会社」創業から100年を迎えました。次の100年に向けて、成長をより確かなものにするため、様々な取り組みをスタートさせています。トヨタ紡織は、100年先も信頼される企業であり続けるために、自動車産業大変革への新たな挑戦に取り組んでまいります。



新本館の完成イメージ図

以 上